

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	名都借跨線橋道路拡幅改良事業			会計	款	項	目	大	小
				01	08	02	03	01	70
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山(都市基盤の整備)		主管課	道路建設課				
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備		主管課長	遠藤 茂				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	拡幅改良により、普通自動車の相互通行及び、緊急時の大型車の通行や歩行者の安心安全を確保する。
事業内容	旧たけのこルーム前交差点から国道6号線までの延長325mについて、普通自動車の相互通行及び、緊急時の大型車の通行や歩行者、自転車の安全な通行を確保するため平成24年度より整備を進めている。			
事業開始から現在までの状況変化	平成24年度は、千葉県公安委員会、JR東日本、国道事務所と協議を実施し、平成25年度には、橋梁等の詳細設計を行いました。平成26年度から用地取得に向けての不動産鑑定、物件調査を行い、用地交渉を進めている。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式(成果指標の場合)
		整備率	2.80	3.10	15.75	%	↑↑↑
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状(客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況) 当該路線は、国道6号と旧水戸街道を結ぶ補助幹線道路であるが、普通自動車の相互通行及び、緊急時の大型車の通行に見合う道路幅員が確保されておらず、車両・歩行者に安全な道路状況ではなかった。地元合意を図りながら計画を進めている。						
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		54,258,000	51,686,960	214,841,801			
事業費(b)(円)		47,271,000	44,776,960	203,546,801			
うち一般財源		2,172,000	2,567,960	20,807,148			
職員給与費(c)(円)		6,987,000	6,910,000	11,295,000			
人役・職員(人)		1.00	1.00	1.50			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)(建設又は取得年度のみ記入)							
想定耐用年数(年)(建設又は取得年度のみ記入)							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた	
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である	
総合評価		拡 充 (事業を拡大して継続すべき)					
		コストの削減					A 削減の余地はない

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H27)の改善計画	用地買収に向けた調査及び交渉を実施し、事業の進展を図る。	取組の課題	用地買収に向けた調査及び交渉を実施する。事業を円滑に進めるため関係機関との協議が必要になる。
今年度(H27)に実施した取組	不動産鑑定及び物件調査を実施し、全地権者34名に対し、10名の地権者と契約を締結する。	今後の改善計画	用地買収に向けた交渉を実施し、事業の進展を図る。